

思い、やる、人。

www.hamada-m.com 国会質問動画配信中!

浜田まさよし通信



2010年
新春号



発行日：2010年1月4日 発行/公明党参議院比例区第8総支部



横浜市内の中小企業を視察 (09年12月)

神奈川労働局視察 (09年12月)

手続きの簡素化・アドバイザーを実現！
その他、浜田の提案により、助成金の申請様式を5種類から3種類に削減し、分かりやすく改善。また、ハローワーク、労働局助成金窓口に助成金支給申請アドバイザー・相談員を配置するなど、中小企業の方々が簡素に手続きができるように改善しました。

公明党が08年第一次経済対策「生活対策」で、雇用調整助成金を拡充してから、その利用が急拡大しました。そのようななか、09年7月に地元、横浜市内の中小企業から雇用調整助成金の申請期間が短く申請が間に合わないという問題を伺い、浜田が早速行動。相談を受けてから3日後に申請期間の延長(申請期間「1ヶ月以内」から「2ヶ月以内」とする通達の発出)を実現し、経営危機脱出に感謝されました。

多くの中小企業から感謝の声!!
雇用調整助成金の申請期間延長を実現!

現場の声を国政に、 今こそ、中小企業対策を!!

参議院議員「浜田まさよし」は中小企業の味方

Hamada Masayoshi Tushin



横浜ダルク・ケアセンター訪問 (09年11月)



夜回り先生こと水谷氏と「夜回り」(09年10月)

青少年の生命を守る

―夜回り先生(水谷修氏)との共働

09年10月16日深夜、横浜駅前、浜田と高校時代の同級生の夜回り先生こと・水谷修氏と「夜回り」をしました。子どもたちの心を開く「辛抱強さ」を、我々大人たちが、そして行政がどう持つかが問われていると実感しました。

―横浜ダルク・ケアセンターを視察

夜回りの新聞記事は大反響。支援者の方から、薬物依存に悩む人たちやその家族の実態を理解してほしいとの声が寄せられ、水谷修氏の紹介で横浜市南区にある横浜ダルク・ケアセンターを訪問。

年約2万件の薬物事犯のうち満期出所になった方々への再発防止教育や社会福祉が届いていない状況、依存症支援が福祉政策のハザマから抜け落ちてくる実態が明らかになりました。

―質問主意書で政府に要請

これらの視察を基に、リストカット等の自傷行為の防止や矯正施設を含む薬物依存症の治療・支援体制の整備について質問主意書を提出し、政府の積極的対応についての回答を引出しました。

浜田まさよし Profile

浜田まさよしは「思い、やる、人。」

「思い」がやまほどある。「やる」術を知っている。「人」として、人のために。皆様の声を反映した「思いやりのある再チャレンジ社会」を目指します。

浜田まさよしはこんな人!

- 「思い」がやまほどあるのが浜田まさよし。
日本の「バリアフリー」をつくったのは浜田まさよし! まだ「バリアフリー」という言葉も普及していなかった経産省時代、そのきっかけをつくった男。
- 「やる」術を知っているのが浜田まさよし。
数々の市民相談・現場からの声に対し、23年の行政経験に基づいた明確な回答、問題解決ができる男。
- 「人」として、人のために尽くせるのが浜田まさよし。
誠実、有言実行、ヒューマニズムに溢れる男。どこまでも人の為に日本の為に働ける男。

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち
- 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選 元外務大臣政務官、党政調副会長、元同外交部会長、同中小企業活性化対策本部事務局長、同独法・公益法人等改革委員会事務局長、同核廃絶推進委員会座長、同神奈川県本部副代表 等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長



2004 ▶ 2010 **6** 年間の軌跡

暮らし・生命・平和を守る
Defend Life and Peace

2004年7月11日に初当選させていただいて以来、皆様の熱きご支援をいただき、国会におきましては、3回の本会議代表質問、93回の委員会質問等を通じ、数々の実績を上げることができました。

1 Pickup

暮らしを守る

景気・経済対策で現場の声を実現!!

● 歩いて暮らせるまちづくりを推進 (06年5月・09年7月)

浜田は経産省時代、「バリアフリー住宅」の原点をつくりました。その経験を活かし、国会議員として、参院本会議、予算委員会等で、歩いて暮らせるまちづくりについて質問。その結果、まちづくり三法の改正(06年5月)、地域商店街活性化法の制定(09年7月)や予算により商店街の活性化・歩いて暮らせるまちづくりを推進しました。

● 家電・住宅のエコポイント制度をいち早く実現 (09年4月・12月)

公明党は環境と経済の両立を目指すエコポイント制度をいち早く実現しました。さらに家電エコポイント制度について、町の電気屋さんの声を受け、その前倒し実施を実現するとともに住宅版エコポイント制度についても、浜田の強い要請により、09年12月8日までの前倒し適用を実現しました。

● 中小企業融資を弾力化 (07年～09年4月)

公的融資の返済猶予をいち早く実現(07年11月)。小規模企業のマル経融資の拡充(上限1000万円から1500万円へ)を実現いたしました(09年4月)。

● 企業再生支援機構を実現 (09年6月)

民主党の反対に対して09年3月18日、参議院予算委員会では修正を提案し、地域の中小・中堅企業の再生に対する16兆円の緊急融資を可能にしました。



家電エコポイントについての要望を聞く (09年4月)



参議院予算委員会での質問 (09年3月)

2 Pickup

生命を守る

うつ病・がん対策を推進!!

● うつ病対策を前進

うつ病患者はこの10年で倍増し、1000万人を超えました。党ワーキングチームの事務局長として各地を視察。いち早く、「総合うつ対策」に関する提言をまとめ政府に要請(08年8月)。カウンセリングの拡充など、うつ病対策を前進させました。

● 結核対策を拡充

ストップ結核推進議員連盟事務局長として、世界の結核患者の1割を救う日本の行動計画を取りまとめるとともに、国内でも毎年24万人を超える新規結核患者に対応するため、結核医療の診療報酬の抜本的改定に尽力しました。

● がん対策を推進

従来のがん治療では対応できない第4の治療法として、免疫細胞療法の医療法上の位置づけを明確化し、がん患者の経済負担軽減を推進しました。



がん対策についてのヒアリング (08年11月) | ザンビア・ルサカのHIV・結核二重感染者へのお見舞い (08年7月) | フィリピン・マニラの小児結核少女宅訪問 (08年5月) | 沖縄県立総合精神保健センターを視察 (08年5月)

3 Pickup

平和を守る

日本の外交で「核廃絶・人間の安全保障」の推進を!!

● 福田首相にクラスター弾禁止条約の政治決断を迫り実現 (08年5月)

浜田は外交部会長(当時)として、福田康夫首相(当時)に直接会い、クラスター弾の非人道性を訴え、日本が禁止へ踏み切るよう決断を求めました。福田首相の指示で一転して条約案への同意を決めました。「平和」の党、公明党の存在感が発揮できました。

● ジュネーブ軍縮会議で「核軍縮」を提言し、カットオフ条約の交渉を促進 (07年3月)

07年3月13日、浜田はジュネーブで行われた軍縮会議で、日本代表として、今こそ軍縮会議が再度、実効性のある条約づくりを目指すべきと提言。これをきっかけとして核兵器物質の生産を禁止するカットオフ条約についての交渉スタートが決定しました。日本の安全保障を守りつつ、核廃絶を推進できるのは公明党だけです。



クラスター弾禁止申し入れ (08年5月)



軍縮会議でのスピーチ (07年3月)